

2014 年度山谷夜回りの会活動報告

2015/3/25
文責 村井

1 はじめに

山谷夜回りの会をご支援いただきまことにありがとうございます。本年度の当会の活動報告書を皆様のお手元にお送りさせていただきます。

当会は2002年度まで、フランシスコ会中谷神父主催の『山里の家』の炊き出しグループとして活動してまいりましたが、ご高齢になられた中谷師の体力的な問題などの事情で、『山里の家』としての炊き出し活動が中止となったため、2003年度より『山谷夜回りの会』として新たに活動を開始いたしました。『夜回りの会』として活動を始めてから、来年度で13年目となります。

昨年に引き続き今年度も、山谷地域で野宿をしておられる方の数は、ここ数年の中ではかなり少ない水準で推移しております。やはりアベノミクスの影響で仕事が増えているからではないかと思われまふ。ただ、今年度は昨年度ほどの勢いはなく、年度の後半に入って徐々に野宿の方の数が例年の水準に戻りつつあるようにも感じております。仕事さえ数が出るようになれば野宿の生活から脱出できる方は確実に増えてまいりますので、何かの拍子に景気の腰が折れないことを祈りつつ、皆さんに仕事が見つかるまでのサポートが当会でお配りするおむすびや衣料品・日用品でできればと思っております。

一方、仕事につける方々が路上から姿を消した結果、今でも山谷に残っている方々の中では、様々な障害や病気、高齢などで仕事があつても働くことが困難であるという方々の比率が増えています。特に若い野宿者の方の場合には軽度の知的障害等があるケースが見受けられます。そのため食料と物資をお配りする今までの活動形態とは別な支援の在り方を検討するべき時期に来ているのかもしれない。時代の変化を見極めつつ、少しずつでも模索していければと思っております。

今年度も非常に多くの方から活動への御支援を御寄付やボランティア参加の形でいただくことができました。どうもありがとうございます。当会が活動を継続できたのは、お米・梅干・海苔・毛布・衣類・日用品・献金、そして祈りと励ましなど、様々な形でご支援くださいました皆様のおかげでございます。社会全体にわたる大きな問題の前に、当会の働きは小さなものではございますが、皆様のお力添えをいただきながら、一人一人の小さな力を合わせて、引き続いて山谷地域の野宿生活の皆様への支援活動を続けていければ幸いです。来年度もご支援のほどどうぞよろしく願いいたします。

簡単ながら、今年一年間の活動の様子をご報告させていただきます。

2 ボランティア参加者

大変残念ではございますが、山谷地域の川沿い方面でのおむすびと各種物資配布を長年ご担当されてきた町田教会の山谷支援グループが、メンバーの皆様の高齢化のため活動が継続できなくなり、2014年の7月をもって活動終了されることになりました。しかしながら商店街方面で活動するボランティアも近年減少傾向にあり、二方面での同時に配布を行うという形を継続するのは難しい状況でございます。そのため9月以降は商店街方面でのみの夜回りという形に変更させていただきます。

このような状況の変化の中、当会だけではカバーできない様々な形の支援に関し他の支援団体の皆様とも連携を模索する必要があると痛感しております。そこでNPO法人ホームレス支援全国ネットワークに山谷夜回りの会として加盟させていただきました。今後とも他団体の皆様と情報を交換しつつ、可能な範囲で協力体制を徐々に構築できればと考えております。

またボランティア参加者の募集に関しても新しいメディアの活用など方法を模索していく必要があると考えております。

3 おむすび

野宿の皆さまが一番必要とされるのは何と言っても栄養のある食べ物です。そのため夜回りで最優先してお配りしなければいけないのはおむすびになります。今年度もカトリック松戸教会とカトリック町田教会、そしてカトリック三軒茶屋教会の皆さまが、心を込めておむすびを作ってくださいました。三教会の皆様他に定期的に大量のお米をご寄付くださる方、御海苔・梅干をお届けくださる方、教会から山谷までおむすびを運んでくださる方、その他にもたくさんの方々のご支援のおかげでおむすびの配布を継続できております。今年度後期から町田教会のグループの皆様が引退されたので昨年度よりも数としては少なくはなりますが、今年一年を通して約 8000 個のおむすびを山谷の皆様にお配りすることができました。本当にありがとうございます。

来年度も山谷の皆様のお手元に心のこもった手作りのおむすびをお届けできればと思います。どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

おむすびづくりで活動をご支援してくださっている中心的な存在の一人であるカトリック松戸教会の井上陽子さんが 2 月 16 日に帰天されました。井上さんは当会の設立以前より山谷地域での奉仕活動を続けてこられた私の大先輩にあたる方で、夜回りの会の設立にあたっては松戸教会でおむすびグループを主導し、その後も長年にわたって献身的な活動を続けていらっしゃいました。井上さんとご家族の皆様、そして松戸教会の皆様のためにどうぞお祈りください。

4 衣類・日用品

今年度も皆様のご寄付のおかげで、山谷の皆様がたくさん衣類と日用品をお配りすることができました。ご寄附いただいた皆様、どうもありがとうございました。お配りした物資の詳細は別紙の表をご覧ください。

今年度もほぼ例年通りでございますが、春から夏にかけての期間は特に大きな問題もなく野宿の皆様が必要とされる衣類や日用品が一通りはお配りできている状況でございました。しかし、やはり秋から冬にかけてお配りする衣類、中でも防寒具類が著しく不足いたしました。特に不足が著しい品はジャンパー・セーター・ズボン下の三点になります。その中でも特にジャンパーは山谷にお持ちすると瞬く間に無くなるという状態が続いておりました。毎年誠に残念ながら冬を越せずに路上でなくなる方がいらっしゃいますので、いずれも厳しい寒さの中、外で夜を過ごされるためには欠くことのできない貴重な品でございます。また、ジャンパー・セーター・ズボン下ほど逼迫していたわけではございませんが、手袋・靴下・カイロ・風邪薬も急激に需要が増え、冬の期間を通じて不足気味でした。

そのような状況を鑑みまして、皆様から頂きましたご寄付は今年度も主に越冬関連用品の購入に充てさせていただいております。暖かい季節の日用品などを減らし、防寒に役立つ衣類や毛布、カイロ、手袋、風邪薬などを大目に配布するように調整しております。

また、今年度は夜回り当日に雨の日が多く、布製の物は防寒の役に立ちそうになかったため、毛布の代わりにビニール生地の寝袋を何度かお配りしてみました。暖かさの点ではやはり毛布が有用なようですが、寝袋と併用することで雨風の影響を最小限に抑えることができるようです。来年度も野宿の皆様のお話を伺いつつ越冬対策を検討してまいりたいと思います。

毛布の次に越冬用の需要が大きいのジャンパーとセーターですが、一つ当たりの単価が毛布に比べて高いので、予算の都合上大々的な購入は見合わせております。しかしながら、野宿の方たちにとって冬を越すうえで欠かすことのできない品です。もしご家庭に中古でまだ使える男性物のジャンパー・セーターがございましたら引き続きぜひご寄付をよろしくお願いいたします。

5 会計報告と口座について

今年度も皆さまから大変たくさんのご寄付をたまわりました。中でもおむすびづくりでも大変お世話になっております松戸教会からは、今年もバザー売り上げをご寄付としていただきました。また毎月定期的にお志を振り込んでくださった方もいらっしゃいました。皆様どうもありがとうございました。簡単ながら、2014年度の会計報告をさせていただきます。

具体的な使途といたしましては、毛布類と衣類・日用品の購入、ご支援をいただいた皆様への報告書の郵送費となっております。今年度分の郵送費は発送手配の都合上来年度分で計上させていただきます。内訳といたしましては下の表のように、冬場の毛布・下着（特に冬場の防寒用ズボン下）・日用品類の購入費が大きなウェイトを占める形となっております。

今年度の繰越金 791 円は、2015 年度の毛布購入費や日用品購入費に充てさせていただきます。どうぞご了承下さい。

当会のご寄付の口座ですが、昨年度と同じく下記の口座となっております。

どうぞよろしく願いいたします。

郵便振込ご利用の場合

口座番号：00180-8-429173

口座名称：山谷夜回りの会

金融機関より郵貯銀行へお振込の場合

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：019

預金種目：当座

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店）

口座番号：0429173

以下に 2014 年度の会計報告を掲載させていただきます。

2014 年度山谷夜回りの会会計報告書

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)

(単位:円)

	科目	金額
1. 収入の部(A)	前年度繰越金	2749
	寄付金収入	856000
	合計	858749
2. 支出の部(B)	毛布類代(毛布 340、タオル 720)	180640
	下着類・日用品類代	677318
	合計	857958
3. 次年度繰越金(A-B)		791